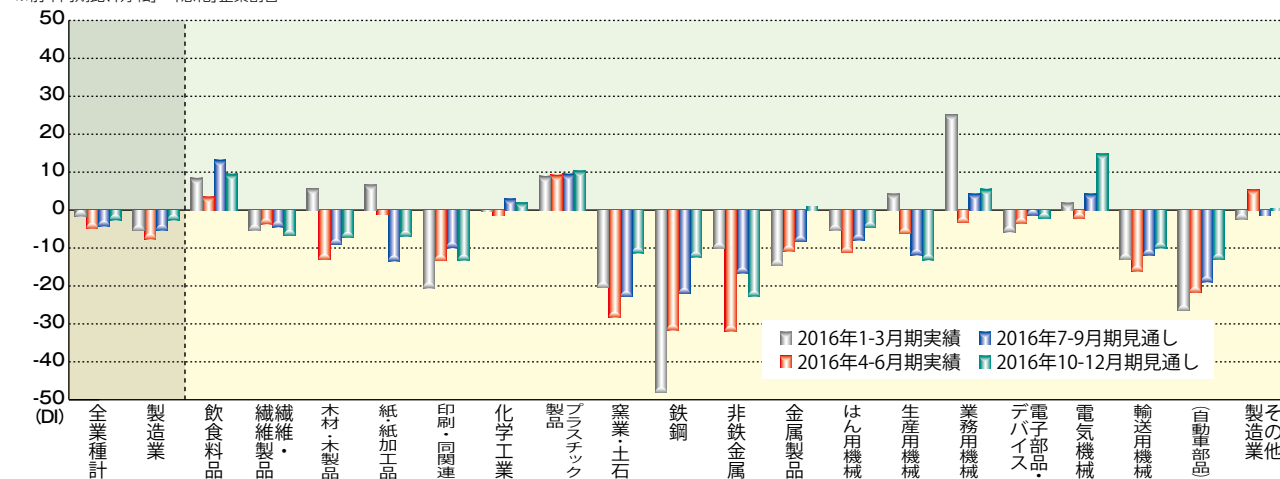


①-2 業種別業況判断

製造業：設備・機械関連、素材関連業種が低下
非製造業：消費関連業種が低下

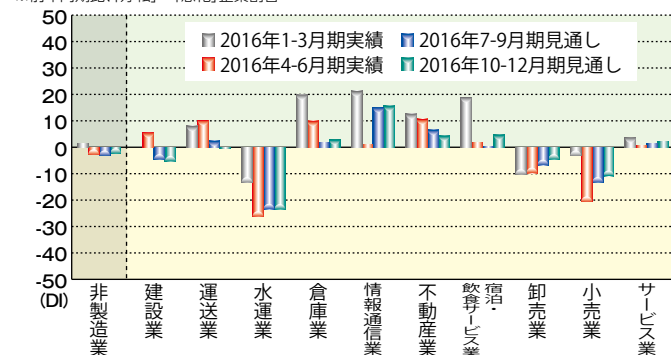
製造業 業種別業況判断DIの推移＜季節調整値＞

※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合



非製造業 業種別業況判断DIの推移＜季節調整値＞

※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合



●製造業

製造業では、円高の進行や新興国経済の減速の影響を受け、はん用機械等の設備関連業種や輸送用機械が低下したほか、窯業・土石、非鉄金属などの素材関連業種の低下が目立った。来期以降は、多くの業種でマイナス幅が縮小する見通し。

●非製造業

非製造業では、宿泊・飲食サービス業や小売業などが低下した。来期以降は非製造業全体ではほぼ横ばいとなる見通し。

①-3 地域別業況判断

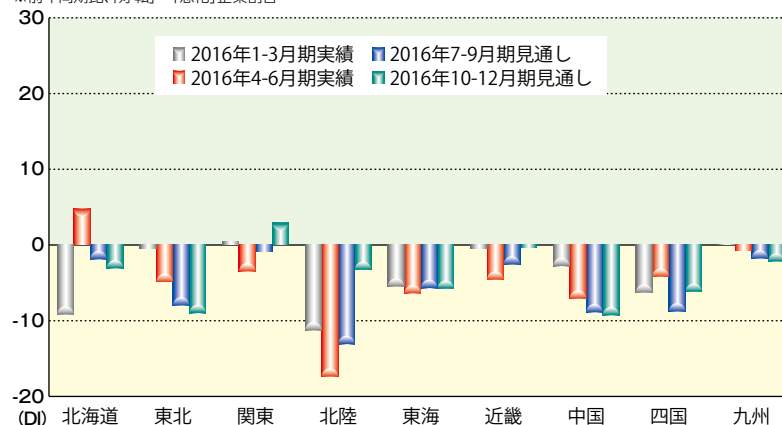
8地域でマイナス水準

業況判断DIを地域別にみると、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州の8地域でマイナス水準となった。

来期は、関東、北陸、東海、近畿の4地域でマイナス幅が縮小する見通し。

地域別業況判断DIの推移＜季節調整値＞

※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合



データで見る中小企業の動き

全国中小企業動向調査(中小企業編)の結果概要

2016年4-6月期実績、7-9月期および10-12月期見通し

『中小企業の景況は、
緩やかな回復基調のなか、
弱い動きがみられる』

日本政策金融公庫総合研究所は7月22日、「全国中小企業動向調査結果(2016年4-6月期実績、7-9月期以降見通し)」を発表した。

今回調査のポイント

- 業況判断 DI** 3期連続で低下し、マイナス水準。来期以降はマイナス幅が縮小する見通し。
- 売上 DI** 3期連続で低下し、マイナス水準。来期以降は上昇する見通し。
- 価格関連 DI** 販売価格DI・仕入価格DIともに8期連続の低下。
- 純益率 DI** 2期連続で低下。来期はマイナス幅が拡大、来々期はマイナス幅が縮小する見通し。
- 従業員 DI** 前期から低下するも、依然として高い水準にある。
- 設備投資実施企業割合** 前期から上昇し、高い水準を維持。

DI (ディフュージョン・インデックス)

当調査のDIは、回答結果の分散程度を指数化したものです。質問に対し「プラス」「中立」「マイナス」の3つの選択肢を用意し、「プラス」の選択肢に回答した企業の割合から「マイナス」の選択肢に回答した企業の割合を差し引いた値で、基本的に「変化の方向」を表します。

DATA

- 調査時点：2016年6月中旬
- 調査対象：日本公庫中小企業事業取引先13,620社
- 有効回答企業数：7,407社（回答率54.4%）
- (注) 熊本地震の影響を考慮し、今期調査においては熊本県内に所在する企業を調査対象外とした。

①-1 業況判断

3期連続で低下

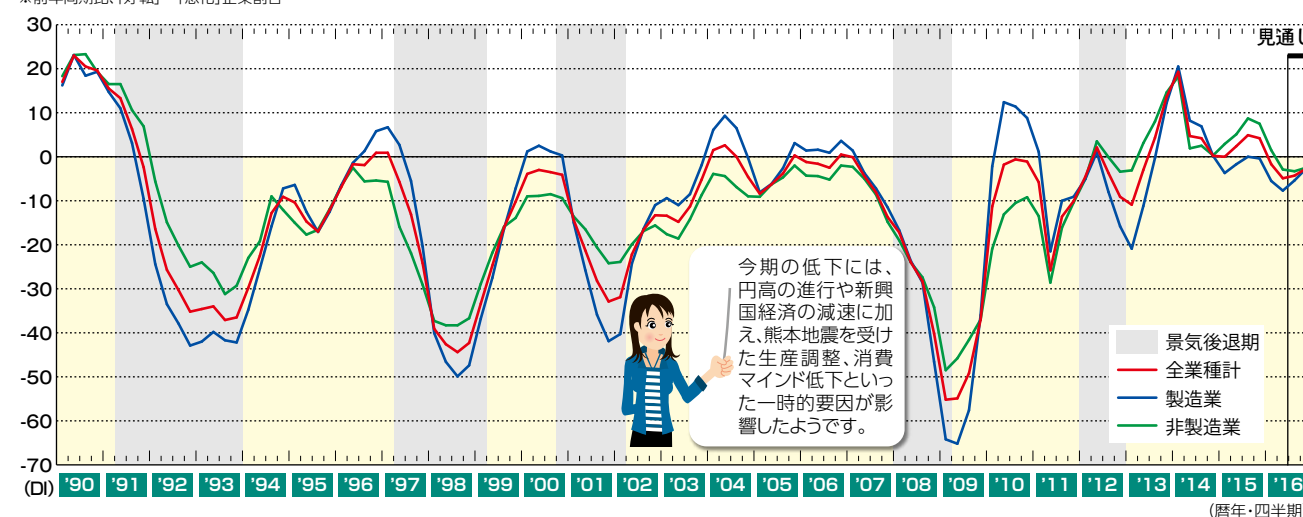
▲1.7 ▶ ▲4.9

DOWN

- 現状 業況判断DI（前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合）は前期から3.2ポイント低下し、▲4.9となった。
- 見通し 来期以降は、マイナス幅が縮小する見通し。

業況判断DIの推移＜季節調整値＞

※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合



④ 利 益

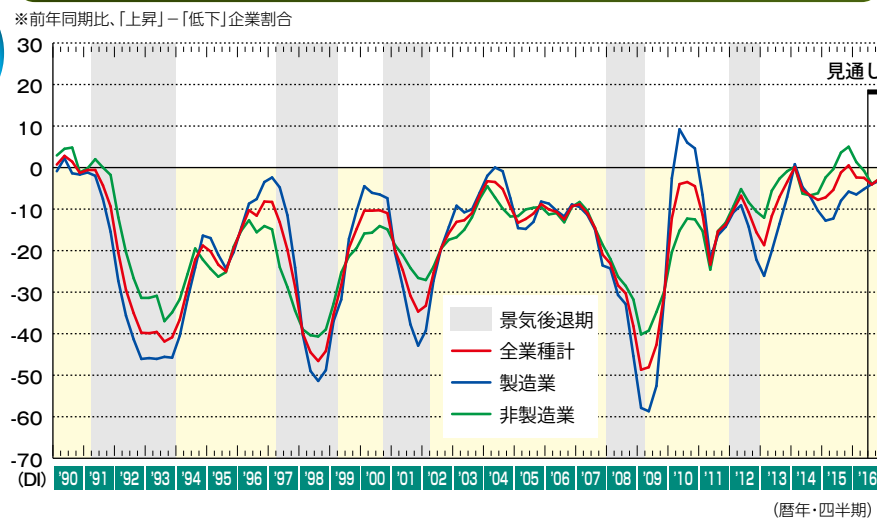
2期連続の
低下

▲2.4 ▷ ▲2.5

DOWN

純益率DI（前年同期比、「上昇」－「低下」企業割合）は▲2.5と、前期から0.1ポイント低下した。来期は仕入価格の上昇等を反映してマイナス幅が拡大するものの、来々期はマイナス幅が縮小する見通し。

純益率DIの推移＜季節調整値＞



⑤ 雇 用

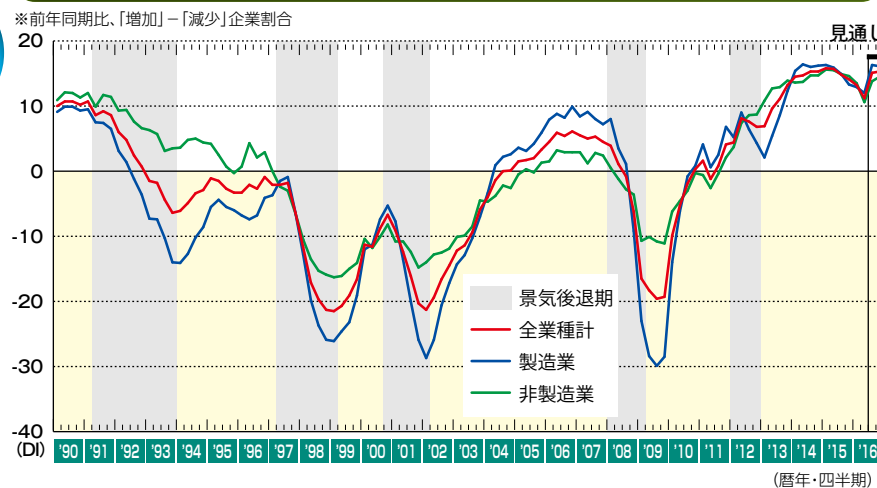
5期連続の
低下も、
引き続き高水準

13.2 ▷ 11.2

DOWN

従業員DI（前年同期比、「増加」－「減少」企業割合）は、前期から2.0ポイント低下し、11.2となった。5期連続の低下となるも、依然として高い水準が続いている。

従業員DIの推移＜季節調整値＞



⑥ 設備投資実施企業割合

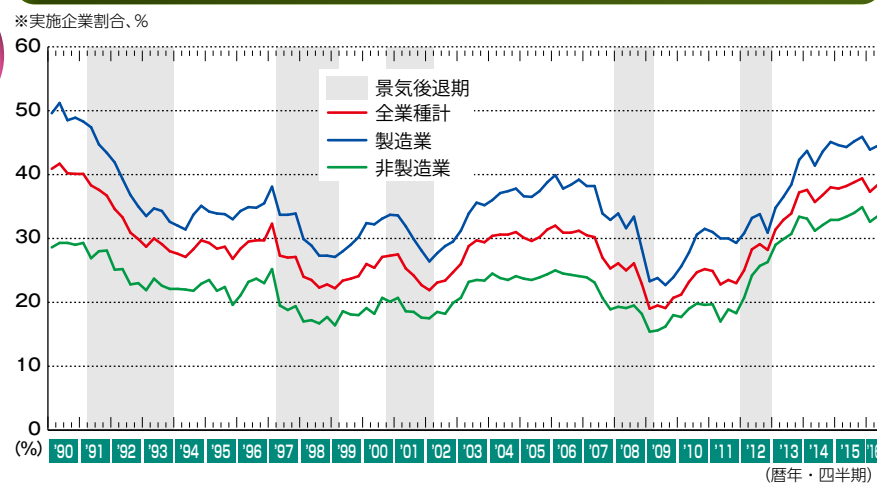
高水準を
維持

37.3 ▷ 38.4

UP

設備投資実施企業割合は、前期から1.1ポイント上昇の38.4%となり、引き続き高い水準を維持している。

設備投資実施企業割合の推移＜季節調整値＞



全国中小企業動向調査（中小企業編）について

当調査は、中小企業の景気動向などを把握するために、日本公庫中小企業事業のお取引先のご協力を得て1959年以来3カ月ごとに実施している調査です。調査結果については、中小企業の分野においてわが国を代表するビジネスサーベの1つとして、関係各位から高い評価を得ています。

② 売 上

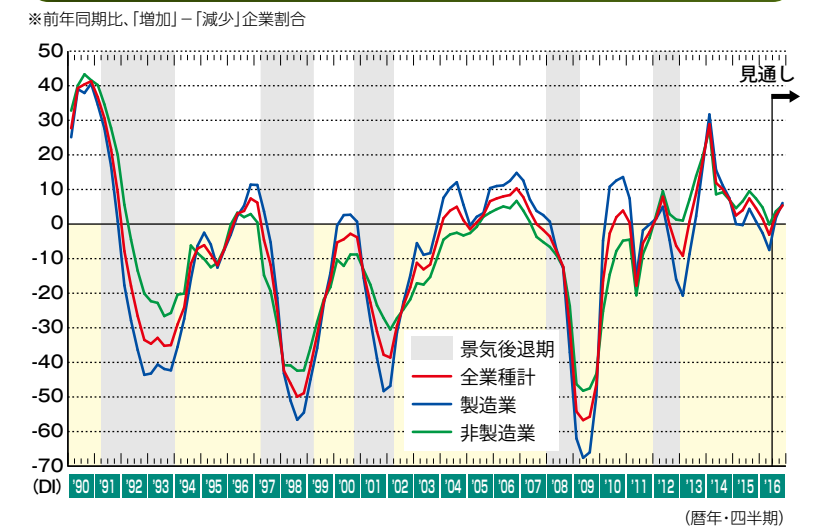
3期連続で
低下

1.5 ▷ ▲3.1

DOWN

売上DI（前年同期比、「増加」－「減少」企業割合）は前期から4.6ポイント低下し、▲3.1となった。マイナス水準となるのは13期ぶり。来期以降は上昇し、再びプラス水準となる見通しである。

売上DIの推移＜季節調整値＞



③-1 販売価格

8期連続の低下

▲2.8 ▷ ▲4.8

DOWN

販売価格DI（前年同期比、「上昇」－「低下」企業割合）は、前期から2.0ポイント低下し、▲4.8となった。低下は8期連続である。

③-2 仕入価格

8期連続の低下

9.2 ▷ 9.0

DOWN

仕入価格DI（前年同期比、「上昇」－「低下」企業割合）は、前期から0.2ポイント低下し、9.0となった。低下は8期連続。来期以降は上昇する見通し。

価格関連DIの推移＜原数値＞

